

## 研究の実施に関する情報公開文書

本研究は、倫理審査委員会の審査を受け、鹿児島医療センター院長の承認を得て行っているものです。研究趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 研究の概要

研究課題名	当院の心臓カテーテル治療における散乱線による医療従事者の被ばく線量の測定
研究期間	倫理審査承認日 2025年12月4日 ～ 西暦2026年3月31日
症例数	60症例（鹿児島医療センター）

### 2. 研究の対象

- 2025年10月に当院で心臓カテーテル検査を受けられた方
- 2025年10月に当院で心臓カテーテル治療を受けられた方
- 2025年10月に当院で心臓カテーテルアブレーション治療を受けられた方

### 3. 研究の背景・目的・方法について

Interventional Radiology (IVR) においては、透視・撮影時に患者体内で発生する散乱線により、医療従事者が比較的高い放射線被ばくを受けることが知られています。また、国際放射線防護委員会 (ICRP) の勧告により、2021年4月より電離放射線障害防止規則が改正され、水晶体の等価線量限度が150 mSv/年から50 mSv/年かつ100 mSv/年に引き下げられました。これを受け本研究では、当院の血管撮影室において検査実施時の環境を再現した状況下で医療従事者の被ばく線量を測定し、評価を行います。また、当院は血管撮影室を複数有しているため、検査室間差を比較することを目的とします。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では診療の際に得た以下の試料・情報を使用します。

試料：なし

情報：過去のIVR手技の記録 (DAP、透視線量率、透視時間、撮影回数)

利用開始予定日：倫理審査承認日

### 5. 外部への試料・情報の提供・公表

該当なし

### 6. 個人情報の保護について

この研究に利用される診療情報などの研究データは、個人を特定できない形式に記号化した番号により研究責任者によって管理されますので、あなたの個人情報が研究組織外部に漏れることは一切ありません。この研究で得られた結果は学会等に発表されることがありますが、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。

## 7. 研究組織

鹿児島医療センターにおける研究実施体制

研究責任者	放射線科	診療放射線技師	中間	理李加
研究分担者	放射線科	診療放射線技師	岩元	優樹
	放射線科	診療放射線技師長	大浦	弘樹
	放射線科	診療放射線副技師長	濱田	圭介

## 8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はなく、当院規程に基づく利益相反委員会での審査と承認を得ています。

## 9. 研究への情報利用の拒否・停止について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もありますのでご了承ください。

## 10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

(研究責任者)

鹿児島医療センター 放射線科 診療放射線技師 中間 理李加

鹿児島市城山町8番1号

TEL 099-223-1151 FAX 099-226-9246